

Power-SOL UPSモニタ リリースメモ

年月日	リリースバージョン	モニタバージョン	エクスプローラバージョン	リリース理由
2003/5/8	2.00	Ver2.00	Ver2.00	<ul style="list-style-type: none"> ・NetworkAgentCardに対応しました ・Windowsサービスプログラムに対応しました
2003/11/13	2.10	Ver2.10	Ver2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・温度情報を計測ログに表示する変更を行いました。
2003/12/19	2.1	Ver2.10a	Ver2.10a	<ul style="list-style-type: none"> ・温度情報の表現を変更しました。
2004/2/6	2.11	Ver2.11d	Ver2.11a	<ul style="list-style-type: none"> ・起動直後にネットワーク通信異常を検出すると、メモリリークが発生する事象を修正しました。 ・モニタ画面のスケジュール時刻が正しく表示されない事象を修正しました。
2004/4/6	2.12	Ver2.12	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・終了通知の送信間隔を0.5秒からマシン毎のIPアドレスより取得した情報の間隔で送信するように変更しました。 ・電源障害のメッセージが発生した状態に合わせて表示するように変更しました。 ・また、「停電」及び「入力異常」の2つのイベントを表示する変更を行いました。 ・NTシステムイベントログとPower-SOLで表示される警報メッセージ内容が異なっているので統一させるように変更しました。 ・UPSコントローラを停止させた時にメンバ上で「UPSコントローラが停止しました」のメッセージが3回表示されるのを1回のみ表示されるよう変更しました。 ・UPSコントローラ(Windows)は終了通知をメンバに1回しか送信していないので3回送信するように変更しました。 ・スケジュールカウントダウン開始後、メンバ側で自動スケジュールカウントダウンを実施するように変更しました。 ・メンバがスケジュール停止電文受信時に本電文の応答を返すように変更しました。 ・ショートシャットダウン、ロングシャットダウン、パーマナントシャットダウン、スケジュール停止0分通知時にメンバから応答が無い場合は1秒間隔で3回リトライを実施するように変更しました。 ・ショートシャットダウン、ロングシャットダウン、パーマナントシャットダウン、スケジュール停止0分通知時にメンバの状態をログに書き込むようにしました。 ・また、これらのコマンドおよび停電停止時にUPSに対して送信するコマンドのログを書き込むようにしました。 ・アプリケーション終了中、各種カウントダウンメッセージが表示されないように変更しました。 ・また、再度アプリケーションコマンドが実施されないように変更しました。 ・コントローラのアプリケーション終了時間=0、システムがダウンするまでの時間=0にてスケジュールを実施すると、スケジュール起動時間になっても ・UPSメンバインストール時直後にLANケーブルを抜くとコントローラのマシンのポート番号0番に対してメンバ登録要求電文を送信しているのを3069から9999のポートに送信するように変更しました。 ・また、コントローラ検索時は別スレッドで検索するように変更しました。 ・コンピュータがサスペンド状態になった時に他ノードに対して終了通知を送信するように変更しました。 ・スケジュールカウントダウン実施後スケジュールをキャンセルした時にメンバから応答が無い場合は10秒間隔で3回リトライを実施するように変更しました。 ・UPSコントローラからUPSドメインモニタに対して送信するヘルスチェック電文内に「HEALTH CHECK」の文字を設定するように変更しました。 ・コントローラのアプリケーション終了時間=0、システムがダウンするまでの時間=0にて電源障害が発生させた時、電源障害カウントダウン終了時にUPSコントローラが無反応にならないように変更しました。 ・シャットダウンタイミングにて再起動の遅延を任意に時間に設定し、再度0を設定しても、値が反映されるように修正しました。 ・UPSメンバにて単相、三相の識別を受信しメッセージファイルを変更する修正を行いました。 ・また、UPSコントローラ側で単相である旨を通知する修正を行いました。 ・電源障害中にシャットダウンリポートが実施された場合での要求を受け付けるように変更しました。
2004/4/15	2.12	Ver2.13	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・CPUが過負荷時にUPSコントローラと正常に通信を実施しないため、CPUが過負荷時はプロセスのプライオリティを上げる修正を行いました。 ・また、UPSコントローラへの30秒間隔ポーリングのタイムアウト方法を1秒毎タイムアウトから30秒タイムアウトへ変更しました。
2004/4/19	2.12	Ver2.13	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・CPUが過負荷時にUPSコントローラと正常に通信を実施しないため、CPUが過負荷時はプロセスのプライオリティを上げる修正を行いました。 ・また、UPSコントローラへの30秒間隔ポーリングのタイムアウト方法を1秒毎タイムアウトから30秒タイムアウトへ変更しました。
2004/5/10	2.12	Ver2.13a	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・UPSメンバがUPSコントローラと通信異常時にコンピュータをスタンバイ又は休止状態にし、スタンバイ又は休止状態から復帰させた時にタスクトレイアイコンが正常アイコン色（緑色）に表示が変更されるため、注意アイコン色（黄色）のまま表示するように修正しました。
2004/6/28	2.12	Ver2.13b	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> ・UPSモニタがシャットダウンカウントダウン1分前となった後にバッテリー容量低下が発生したときに、アプリケーション終了時間が実行されずに即OSシャットダウンが実施されますが、この時にアプリケーション終了時間を実施するように修正しました。

Power-SOL UPSモニタ リリースメモ

年月日	リリースバージョン	モニタバージョン	エクスプローラバージョン	リリース理由
2004/7/7	2.12	Ver2.13c	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> UPSモニタ連続運転時にハンドルの数が増え続けていましたが、増えないように修正しました。 また、外部コマンド各種実行時に一部ハンドルが開放されていないので開放するように修正しました。 UPSエクスプローラでタブ切替実施時にハンドルが開放されない場合があるので開放するように修正しました。
2004/7/29	2.12	Ver2.13e	Ver2.12	<ul style="list-style-type: none"> UPSモニタのイベント発生時のポップアップ設定を、“ポップアップしない”に設定した後マシンを再起動させ、その後プログラムのメニューよりUPS Monitorを選択してもUPSモニタの画面が表示されないため、表示されるように修正しました。
2004/9/24	2.14	Ver2.14	Ver2.14	<ul style="list-style-type: none"> UPSリストにX-slot optionを追加しました。 スクリーンセーバー起動中に警報が発生又は復旧した時にUPSモニタ画面又はUPSエクスプローラが起動中ならば、スクリーンセーバーを停止させるように修正しました。(UPSモニタ”ポップアップしない”設定の場合は除く。)
2005/5/24	2.2	Ver2.20	Ver2.20	<ul style="list-style-type: none"> DL9126-RAPSに対応しました。
2005/7/2	2.21	Ver2.20	Ver2.21	<ul style="list-style-type: none"> 負荷率表示の修正を行いました。 UPSリストを修正しました。(HP型番を入れたものに修正しました)
2005/11/25	2.3	Ver2.30	Ver2.30	<ul style="list-style-type: none"> DL9100に対応しました。 英語版をリリースしました。
2006/3/20	2.40 (日本語版のみ)	Ver2.40	Ver2.30	<ul style="list-style-type: none"> UPSリストを修正しました。 UPSモニタ (メンバ) にマルチコントローラ機能を追加しました。
2006/5/18	2.41	Ver2.41	Ver2.30	<ul style="list-style-type: none"> UPSモニタ (メンバ) にマルチコントローラ機能を追加しました。(Windows英語版) マルチコントローラ機能使用時、ローバッテリーを検出した場合は、“給電優先”設定にしても”シャットダウン優先”設定動作となる不具合を修正しました。 Windows98SEおよびWindowsMeをサポート対象OSから除外しました。 インストール時のUPSリストを変更しました。 Windows OSのServicesファイルが存在しない場合、アンインストールできない不具合を改修しました。 一部のメッセージを修正しました。
2006/11/20	2.5	Ver2.50	Ver2.50	<ul style="list-style-type: none"> DL9127に対応しました。 DL9145に対応しました。
2007/10/1	2.6	Ver2.60	Ver2.60	<ul style="list-style-type: none"> Windows Vistaに対応しました。 DHCP環境に対応しました。
2008/7/16	2.63	Ver2.63	Ver2.63	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server2008に対応しました。
2008/12/12	2.7	Ver2.70	Ver2.70	<ul style="list-style-type: none"> 社名変更(デンセイ・ラムダ株式会社→TDKラムダ株式会社)に伴い、画面表示等の変更を行いました。 UPSモニタ (コントローラ運用時) のハンドルがネットワークエラー発生中に増え続ける不具合を修正しました。
2009/1/9	2.70A	Ver2.71	Ver2.70	<ul style="list-style-type: none"> ファイルオープンに失敗するとメモリリークを起こしてしまう不具合を修正しました。
2009/3/27	2.71	Ver2.71	Ver2.71	<ul style="list-style-type: none"> 警告のカスタマイズにて「ログオン中のユーザ」へのメッセージ送信が失敗する不具合を修正しました。 警告のカスタマイズにてWindowsメッセージングをサポートしないOSでのメッセージ送信選択を不可にしました。 警告のカスタマイズにてE-Mail送信内容に送信元が含まれてない不具合を修正しました。 無効なデータを受信した時の処理にて脆弱な部分が存在したため、データの受信処理の抑止と無効なデータを受信した場合のデータ破棄等の処理を追加しました。
2010/3/10	2.8	Ver2.80	Ver2.80	<ul style="list-style-type: none"> 社名変更(TDKラムダ株式会社→富士電機システムズ株式会社)に伴い、画面表示等の変更を行いました。
2010/9/15	2.81a	Ver2.81	Ver2.81	<ul style="list-style-type: none"> EX100シリーズに対応しました。 Windows 7に対応しました。
2010/11/1	2.82	Ver2.82	Ver2.82	<ul style="list-style-type: none"> EX100シリーズ対応での不具合を修正しました。

Power-SOL UPSモニタ リリースメモ

年月日	リリースバージョン	モニタバージョン	エクスプローラバージョン	リリース理由
2011/2/24	2.82a	Ver2.82	Ver2.82	・社名変更(富士電機システムズ株式会社→富士電機株式会社)に伴い、画面表示等の変更を行いました。
2011/8/25	2.84	Ver2.84	Ver2.84	・UPSドメインコントローラ（リリースバージョン：2.84）のバージョンアップに伴い、共通部処理の変更を実施。
2012/12/14	2.85	Ver2.85	Ver2.85	・メモリーリーク不具合を修正しました。 ・ログアウト時に、アプリケーションエラー不具合を修正しました。 ・日本語版のWindowsに、Power-SOL UPSモニタ(英語版)をインストールした場合に表示されるフォントの不具合を修正しました。
2015/6/10	2.86	Ver2.86	Ver2.86	<ul style="list-style-type: none"> ・UX100シリーズに対応しました。 ・スケジュール設定日の、46日前にUPSメンバーのみスケジュールシャットダウンされる不具合を修正しました。 ・簡易設定でのスケジュール設定画面でのボタン初期表示を修正しました。 ・UPSエクスプローラでのタブ画面表示を修正しました。 ・存在しないシリアルポートを指定したときに、不明なログが出力される不具合を修正しました。 ・UPSとの通信確立中に、シャットダウンが実行されると設定データが破損する不具合を修正しました。 ・複数セグメントのUPS機種で、特定条件でシャットダウンタイミングが設定できない不具合を修正しました。